地域と医療で咲くコミュニケーション

あまが咲だより

2018
12月
No.55

兵庫県立尼崎総合医療センター
Amagasaki General Medical Center (AGMC)

[診療科紹介]

小児血液・腫瘍内科
循環器内科

手術ロボット
ダビンチ(Da vinci Si)

[AGMC委員会・部会めぐり]

手術室運営委員会「安全かつ効率的な手術室運営を目指しています」

- [AGMCニュース] クリスマスツリー点灯式開催！クリスマスコンサートの実施!!
- セミナーのご案内
- スタッフのつぶやき
- ぶらり～っと病院探訪

小児血液・腫瘍内科

多職種との連携がスムースで診断や治療は、正確かつスピーディーに安心して行えます！

当科はJCCG(小児がん研究グループ:Japan Children's Cancer Group)、JACLS(小児白血病研究会:Japan Association of Childhood Leukemia Study)に所属して、白血病をはじめ種々の悪性疾患に対して各疾患委員会の推奨する治療方法を採用し、日本におけるスタンダードな診療を行っています。

組織構成

小児血液･腫瘍内科 科長

宇佐美 郁哉

- 日本小児科学会 専門医
- 日本小児科学会認定 小児科指導医
- 日本血液学会認定 血液専門医
- 日本がん治療認定医機構 暫定教育医
- 日本がん治療認定医機構 がん治療認定医
- 日本造血細胞移植学会 造血細胞移植認定医
- 日本小児血液･がん学会評議員
- 京都大学医学博士

左から岩橋医師、末廣医師、宇佐美医師、小林医師

左から芝保育士、傳馬保育士

検査室のメンバー

永井薬剤師

上垣CLS(子ども療養支援士)

小野山 院内学級教諭

提供する活動内容

白血病、リンパ腫など化学療法を必要とする疾患をはじめ、神経芽腫、肝芽腫、脳腫瘍など、化学療法以外に小児外科や小児脳神経外科との連携を要する悪性腫瘍全般の診療を行っています。再生不良性貧血や血友病などにも対応しています。

院内学級が併設されているため、長期の入院であっても安心して治療を受けることができます。24時間365日小児科医が常駐していますので、夜間や休日にも対応が可能です。また重症で呼吸循環管理が必要な場合には、小児救急集中治療科の医師とともに診療を行っています。小児血液･腫瘍内科、小児外科、小児脳神経外科、小児救急集中治療科間のスムースな連携が、他院にはない特色であると自負しています。

カンファレンスの様子

患者さんや地域医療機関へのメッセージ

病院統合後は以前にも増して多数の患者さんをご紹介いただき、大変感謝しております。兵庫県東部の小児血液腫瘍の患者さんの治療に全力を尽くして参ります所存です。今後ともご指導ご鞭撻よろしくお願い申し上げます。

循環器内科

高度かつ専門的な循環器内科医療を行います

当科では循環器領域の一部に偏らず、全ての分野で高度かつ専門的な医療を提供しております。具体的には心不全、虚血性心疾患、末梢動脈疾患、不整脈はもちろんのこと、大動脈疾患や構造的心疾患（各種の弁膜症や先天性心疾患）の専門医が揃っており、これら様々な領域の専門医が連携して最適かつ『総合的』な循環器診療を提供できることが当科の最大の特徴です。

上段左から：由井、西本、宮川、中山、蔵垣内、宮田、堀田、小林、鯨、柴、森、宮崎、河野、山本、佐賀
下段左から：黒住、吉谷、当麻、佐藤、宮本、谷口、今井　　（最上段左から：福原、池田、山口）

組織構成

25名の循環器内科医師の豊富なマンパワーと、多職種におよぶコメディカルスタッフを交えたチーム力で、流れ作業ではない個々の患者様に応じた懇切丁寧な医療を提供します。

提供する活動内容

虚血、不整脈、下肢血管形成術、大動脈ステントグラフト、TAVI、structure heart diseaseなどのインターベンション総数は、年々100例ずつ増加しており、2017年度は1,300例でしたが2018年度は1,400例となる予定です。インターベンションの手技だけでなく、救急・集中治療、画像診断、心臓リハビリテーション、成人になった先天性心疾患、心不全のチーム医療などについても、幅広い分野で総合循環器として医療を提供します。

患者さんや地域医療機関へのメッセージ

近年の心血管病の患者様は他の臓器の病気を合併されていることがほとんどですが、当院には全身をカバーする48の診療科があり、各臓器の専門医と連携した診療が可能です。すなわち当科は『総合病院』の中の『総合循環器内科』として高度かつ専門的な医療を提供いたします。

診療部長
研究部長
循環器内科 科長　**佐藤 幸人**

- 京都大学卒
- 京都大学臨床教授
- 徳島大学臨床教授
- 日本循環器学会 心臓移植適応検討小委員会 委員
- 日本心臓病学会 Journal of Cardiology 編集委員会 委員

AGMC 尼崎総合医療センター
Amagasaki General Medical Center

委員会・部会めぐり

ー豊かな医療を育むための協議ー

適切な運営および安全な医療提供を行うために、
多職種で運営されている院内委員会・部会です。

手術室運営委員会委員長
（手術担当副院長兼麻酔科部長）
進藤 一男

手術室運営委員会

安全かつ効率的な手術室運営を目指しています

委員会の紹介・特徴

手術室の円滑な運営、適切な利用、手術機器および診療材料の購入・相互利用、診療材料の共有化などを検討することを目的に、毎月1回、第2金曜日に開催されている委員会です。

当院には18室の手術室があり、1日50件以上、年間では約1万3千件の手術が行われています。このように多くの手術を安全かつ効率的に実施するために、医師、看護師、臨床工学技士、薬剤師、放射線技師、事務職員など多職種の委員が一堂に会し討議を行っています。

《構成メンバー》

- 委員長1名（進藤副院長兼麻酔科部長）
- 21診療科の部長又は医長 計22名
- 看護部次長・手術室看護師長・病棟看護師長 計13名
- 臨床工学技士 1名
- 薬剤師 1名
- 放射線技師 1名
- 事務職員 2名

計41名の委員で構成されている大所帯の委員会です。
事務局は経営企画部経理課です。

手術室運営委員会 集合写真

活動内容

毎月、前月の手術実績の報告と分析を行っています。年度初めには各診療科に年間の目標手術件数と課題・取り組み内容に関するアンケート調査を行い、とりまとめた結果は委員全員で共有しています。

18室の手術室は多数の診療科が共同使用しています。手術支援ロボット「ダ・ヴィンチ」をはじめとするいくつかの手術機器も複数の診療科で共同使用します。多種多様の手術を効率的に実施するために、予定手術や機器使用の予約申し込みに関するルールが定められています。また、安全に手術を行うために定められたルールも多数あります。より安全で効率的な手術室運営を目指して、これらのルールの見直しを適宜行っています。

患者さんや地域医療機関へのメッセージ

手術を必要とされている患者さんが、安心してより安全に手術を受けていただけることを目指しています。緊急手術を含め、地域医療機関の方々からご紹介いただいた患者さんの手術にも迅速に対応できるよう努めてまいります。

手術室運営委員会 会議風景①

手術室運営委員会 会議風景②

手術室運営委員会 打ち合わせ風景

AGMC ニュース

クリスマスツリー点灯式開催！ クリスマスコンサートの実施!!

～患者さんの憩いの場の提供～

患者サービス委員会では、患者サービスの一環として、毎年、院内にクリスマスツリーを設置するとともに、入院患者さんとそのご家族を対象としたクリスマスコンサートを実施しています。

今年も「クリスマスツリー点灯式」が11月30日（金）、1階図書コーナーにおいて、当院有志職員による演奏会のもと、多くの患者様、職員に観覧していただき、盛大に開催されました。

また、来る12月23日（日）には、1階正面玄関エントランス、5階小児病棟において武庫川女子大学附属中学校・高等学校コーラス部によるクリスマスコンサートを実施します。すてきな歌声を是非お楽しみ下さい。

患者サービス委員会

▲11月30日、クリスマスツリーが点灯しました！

※上部2枚の写真は昨年度の様子

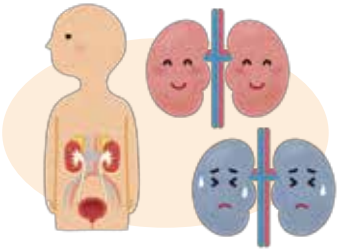
セミナーのご案内

第20回 生活習慣病セミナー

多くの方のご参加を！

テーマ 『腎臓が悪いと言われたら』

～8人に1人の国民病、慢性腎臓病（CKD）を知っていますか？～



【講　師】県立尼崎総合医療センター
●腎臓内科医　岩成 祥夫　●管理栄養士　藤井 里香

【日　時】平成31年1月16日（水曜日）　午後2時～4時

【場　所】県立尼崎総合医療センター 講堂（1階）　参加費：無料（予約不要）

★お問い合わせ：外来Bブロック（糖尿病・内分泌内科）看護部　☎ 06-6480-7000（代表）

スタッフのつぶやき

クリニクラウンと大阪マラソン（そして個人的なお詫び）

看護師長　清水 称喜

みなさんは“クリニクラウン”をご存知ですか？名前の由来は病院を意味する「クリニック」と道化師をさす「クラウン」を合わせた造語だそうです。赤い鼻がトレードマークで、入院生活を送る子どもの病室を定期的に訪問し、遊びやコミュニケーションを通して子どもたちの成長をサポートし笑顔を育む活動を行っています。そんなクリニクラウンが第8回大阪マラソンオフィシャル寄付先団体のひとつに選ばれました。京都大学の山中教授や元阪神球団の赤星選手も団体は違いますが名を連ねているんですよ。そして、今回私も病院を代表してチャリティーランナーに応募しました。6年ぶりのフルマラソン出場です。「恥ずかしくない成績を！」と猛特訓に励んだのですが、その結果、練習中に左足首（左腓骨）を疲労骨折してしまいました…。多くの方々からの応援と総額70,000円の寄付を頂いていたにも関わらず（寄付は予定どおり納めました）出場できなくなってしまったことを、この場をお借りしてお詫び申し上げます。

ぶらり～っと病院探訪

リニアック室

仕事の合間にリニアック室を探訪しました。リニアック室と言ってもピンとこない方が多いかもしれませんね。正式には放射線治療部という名称で、がんの放射線治療を行う所です。場所は病院1階の南東角、内視鏡検査室の奥にありますが、恥ずかしながら行ったことが無かったので正確な場所を知りませんでした。入口から進んで行くと最初に受付があり、診察室、治療計画室、更衣室などを経て最奥に2台のリニアック装置がそれぞれの部屋に構えています。リニアック装置は巨大なドーナツ型をしていてCT装置に似ていますが、部屋は木目調の床で温かみを感じます。リラックスして治療を受けていただきたいという配慮ですね。

ここでは2名の医師と7名の治療担当技師、2名の看護師が勤務しており、平日は毎日35～40名の患者さんを治療しています。対象としては、乳がん、肺がん、頭頸部がん、婦人科や泌尿器科系のがん治療を始め、痛みの緩和治療も行っているそうです。放射線でDNAに損傷を与えてがん細胞を死滅させるのですが、周囲の正常な細胞に障害を与えないよう放射線を当てる方向・量・回数を決める必要があるため、治療計画室では大型コンピューターを駆使して専門的な解析が行われています。正に科学技術の進歩を実感しました。

今月の表紙写真

手術ロボット ダビンチ（Da vinci Si）の紹介

この機械は、医師が操作する「操縦台」、医師の手の動きを正確かつ繊細に再現する「ロボット部」、距離感のある3D映像が確認できる「モニター部」の3つのユニットで構成されています。ロボット部のアームはあらゆる方向に屈曲可能な関節があり、人の手の数倍の細かさで動かすことができます。また手の震えを調整する機能もあり、確認が困難な微細な血管や神経が確認でき、より正確で安全性の高い手術を行うことができます。

編集後記

豪雨、台風、地震、と自然災害の多発した平成30年ももうすぐ終わろうとしています。日本の気候風土は災害が多い一方で美しい自然風景もみせてくれます。それを「性悪の美人」というひともいますが不適切な表現かもしれません。医療の進歩・高度化による恩恵は大きいといえますがそれに伴い関連するトラブルも複雑かつ深刻となっています。変化する医療の現状を少しでも皆様にお伝えしたいとの思いで編集作業に取り組んでいます。（M.H.）

兵庫県立尼崎総合医療センター
Hyogo Prefectural Amagasaki General Medical Center (Hyogo AGMC)
〒660-8550 兵庫県尼崎市東難波町二丁目17番77号　TEL 06-6480-7000（病院代表）　FAX 06-6480-7001
URL：http://agmc.hyogo.jp/
兵庫県立尼崎総合医療センター　検索

発行　兵庫県立尼崎総合医療センター　企画協力・デザイン・印刷　兵田印刷工芸株式会社